

2011年12月14日制定
2013年11月6日改定
2015年10月21日改定

執筆・投稿規程

1. 本誌に掲載される論文の内容は未公開のものに限る。
2. 原稿に記述された内容は、一般的な臨床・研究に関する法令や倫理規程にしたがっていなければならない。
3. 投稿論文は、研究論文（事例研究を含む）、研究動向、その他とする。
4. 原稿の長さは、原則として本文・文献・図表・付表などをすべて含み、20664字以内（1ページ800字：25字×32行）とする。
5. 論文には、表紙をつけ、表題、著者名、所属機関（すべて邦文と英文を併記）、および投稿者の連絡先を記入すること。
6. 英文の表題は、文頭の頭文字のみ大文字で表記すること。
7. 投稿論文は、常用漢字、現代かなづかいを用い、簡潔・明瞭に記述する。
8. 原則として原稿はワープロ類による横書きとする。
9. 上記以外の原稿の書式（本文・図表・引用文献）は、日本心理学会の“執筆・投稿の手引き”に準じる。ただし、英文アブストラクトは不要とする。
10. ページの超過分に係る費用、およびカラーの図版など、原稿印刷に関し特に費用を要するものは、原則として著者の負担とする。
11. 本誌に掲載された論文の著作権、複製権、ならびに公衆送信権は、同志社大学心理臨床センターに帰属する。ただし、論文の内容に関する責任は、各論文の著者が負う。
12. 原稿は、編集委員会宛にオリジナルの原稿とそのコピー、および電子ファイル1部を投稿すること。
13. 投稿論文が投稿チェックリストの全ての項目に該当することを確認し、投稿チェックリストを原稿とともに提出すること。
14. 執筆・投稿規程の改廃は、編集委員会において決定する。

附則 この規程は2011年12月14日から施行する。

附則 この規程は2013年11月6日から施行する。

附則 この規程は2015年10月21日から施行する。

編集規程

1. 本誌は、心理臨床科学と称し、同志社大学心理臨床センターの機関誌として、原則年1巻発行する。
2. 本誌への投稿は、原則として同志社大学心理臨床センターに所属するものに限る。ただし、共著者として、その他の者を含むことを妨げない。
3. 本誌は、編集委員会の責任に基づき編集・発刊の業務がなされる。
4. 本誌には、臨床心理学、およびその周辺領域に関する研究論文（事例研究を含む）、研究動向、その他を掲載する他、同志社大学心理臨床センターにおける講演・活動報告等を掲載する。
5. 編集委員会は投稿論文を査読する。その際、関連する専門領域の研究者に査読を依頼することもある。
6. 論文の採否は編集委員会で決定する。
7. 編集委員は、同志社大学心理臨床センターに所属する教員により構成する。
8. 編集規程の改廃は、編集委員会において決定する。

投稿チェックリスト

投稿者氏名 _____

投稿日 _____

心理臨床科学へ投稿の前には、下記の点を再度確認してください。

1. 論文全般のチェック

チェック欄	チェック項目
<input type="checkbox"/>	論文が未公開のものである
<input type="checkbox"/>	心理臨床科学の執筆要領に従っている
<input type="checkbox"/>	著作権への配慮がなされている（剽窃 ^{ひょうせつ} 、盗用はない）
<input type="checkbox"/>	指導教員の許可を得ている（学生の場合）
<input type="checkbox"/>	倫理的な配慮、倫理審査の有無について記載されている
<input type="checkbox"/>	投稿が締切期日内である

2. 文章表記のチェック

チェック欄	チェック項目
<input type="checkbox"/>	誤字・脱字がない（変換ミスに注意）
<input type="checkbox"/>	主語が明瞭に示されている
<input type="checkbox"/>	漢字の送り仮名が適切に使用されている
<input type="checkbox"/>	平仮名と漢字が適切に使用されている
<input type="checkbox"/>	冗長な文章がない（重複表現や同じ用語の多用されていない）
<input type="checkbox"/>	2通りの解釈ができる文章がない
<input type="checkbox"/>	パラグラフ同士のつながりが明確である
<input type="checkbox"/>	人名が適切である（著者、共著者、引用文献：邦文・英文両方）
<input type="checkbox"/>	句読点が統一されている（，。 ）※英文は（，.）
<input type="checkbox"/>	統計的記号がイタリックである（ <i>F</i> , <i>p</i> , <i>t</i> , <i>N</i> , <i>SD</i> 等）
<input type="checkbox"/>	推測統計の場合に、 <i>p</i> 値、効果量、信頼区間が記載されている
<input type="checkbox"/>	<i>p</i> 値について、正確な値が小数点2桁あるいは3桁で記述されている。 <i>p</i> 値が.001より小さいときには、 $p < .001$ と記述されている
<input type="checkbox"/>	日本語と英語で適切な字体が使用されている（不統一に注意） （日本語はMS明朝、英語はTimes New Roman等）
<input type="checkbox"/>	英文の語と語の間に半角スペースが空いている （例：Sato, 2012 ; Smith & Richardson）

3. 論文体裁のチェック

チェック欄	チェック項目
<input type="checkbox"/>	分量の規定が遵守されている (20664字以内)
<input type="checkbox"/>	問題, 目的, 方法, 結果, 考察など論文構成が明瞭である
<input type="checkbox"/>	表紙, 要約, キーワード, 本文, 図, 表, 脚注, 付記等全ての原稿が揃っている
<input type="checkbox"/>	研究論文, 研究動向, その他, が表紙に明記されている
<input type="checkbox"/>	表題, 著者名, 所属機関が表紙に適切に記載されている (日本語, 英語ともに)
<input type="checkbox"/>	図表の該当箇所が本文中に指示されている (例: である (Table 1) 。 ; Figure 1にある)
<input type="checkbox"/>	図表の挿入位置について, 右の欄外に指示されている
<input type="checkbox"/>	ページ番号がページ下の中央に示されている
<input type="checkbox"/>	ランニングヘッド (省略著者名と表題) が表紙に示されている

4. 図表のチェック

チェック欄	チェック項目
<input type="checkbox"/>	図表は別ファイルとして作成されている
<input type="checkbox"/>	図表内容と本文内容の不一致がない (例: 本文中には有意と書かれているのに, 表にはそのような結果が見当たらない)
<input type="checkbox"/>	図や表において, 無駄な縦罫線がない
<input type="checkbox"/>	図表内の文字, 数字が十分に大きい
<input type="checkbox"/>	Table やFigure 等のタイトルが適切である
<input type="checkbox"/>	図や表の通し番号が記載されている
<input type="checkbox"/>	図については, キャプションと縦軸, 横軸が表記されている
<input type="checkbox"/>	統計的記号がイタリックである (F, p, t, N, SD 等)
<input type="checkbox"/>	本文と図表で情報が重複していないかチェック
<input type="checkbox"/>	不自然な統計的数値がないかチェック (例: F 値が低いのに $p < .01$ や逆に t 値や F 値が高いのに有意ではない)

5. 文献のチェック

チェック欄	チェック項目
<input type="checkbox"/>	文献の引用方法は心理学研究の執筆の手引きに従っている
<input type="checkbox"/>	本文中に引用されている文献が文献リストにも記載されている
<input type="checkbox"/>	引用した文献のDOIが文献リストに記載されている
<input type="checkbox"/>	本文中の初出文献は、著者が3名以上の場合は、第1著者以外「et al.」「他」と略記されている
<input type="checkbox"/>	文献リストの文献一覧は心理学研究の執筆の手引きに従っている
<input type="checkbox"/>	文献リストが著者の名前のアルファベット順に並べられている
<input type="checkbox"/>	文献リストのインテンドが適切である（全角2文字分）